

「第35回 議会報告会・市民との意見交換会」での、市民からのご意見への行政の回答

【都市側利用範囲について】 (連続立体交差事業における鉄道高架下利用の) 都市側利用範囲15%は確定か。今後の検討で増加はあるか。	
1	<p>回答所管課 都市開発課</p> <p>都市における道路と鉄道との連続立体交差化に関する細目要綱第16条において「鉄道事業者貸付等面積比率は85パーセントとする。」とされており、知立市側の公共利用面積は15パーセントと決まっています。 高架下における利用する箇所については、今後、鉄道事業者と調整を行っていきます。</p>

【財産目録について】 現在、財産目録はあるのか。	
2	<p>回答所管課 財務課</p> <p>公有財産台帳及び財産報告書があります。公有財産台帳は土地及び建物の取得年月日、価格、増減事由等が記載されています。財産報告書は土地、建物、物品及び債権等について、その区分、種類ごとに一覧にし、財産状況を明らかにしたものです。</p>

<p>【自転車乗車用ヘルメット購入補助について】 自転車乗車用ヘルメット購入費補助申請者に対して、交通安全教室を実施してはどうか。</p>	
3	<p>愛知県では「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」が本年4月1日から施行されました。このなかで、自転車利用者等の責務として、愛知県内で自転車を利用するすべての方を対象とし、自転車の安全で適正な利用に必要な知識と技能の習得に努めなければならないこと等を定めています。</p> <p>そのため、市としましては、様々な広報媒体や活動の機会を通じ、道路交通法等の法令遵守、自転車乗車用ヘルメットの着用、自転車損害賠償責任保険等への加入などの自転車の安全利用について、補助申請者に限定せず、市民や市内の自転車利用者に広く呼びかけるよう努めると同時に、警察等の専門機関と連携し、希望に応じた交通安全教室（交通安全講話を含む。）が実施できるよう情報提供を行いながら、コロナ禍における交通安全教室の機会の提供に努めます。</p> <p>【交通安全教室の例と主な内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学校等での子ども向けの教室 <ol style="list-style-type: none"> (1) 知立市交通指導員の派遣によるもの （小学校における模擬道路等を用いた自転車教室） (2) 愛知県交通安全教育ボランティア「かけ橋」の派遣によるもの （マジック、人形劇など） 2. 学校、企業、老人クラブ等での全世代向けの教室 <ol style="list-style-type: none"> (1) 愛知県警察本部第一交通機動隊自転車対策小隊「B-Force」の派遣によるもの （実演を交えた自転車の正しい通行方法等についての講習） (2) 愛知県警察本部交通安全教育チーム「あゆみ」の派遣によるもの （中学生・高校生に対する交通安全教育等で、自転車のルール違反は危険な走行であることを認識してもらい、交通ルールを守ることの大切さを指導） <p>回答所管課 安心安全課</p>
<p>【コロナワクチン接種について】 コールセンター方式、ネットでの先着方式では各地で混乱をきたしているが、それに対する知立市の対応方針は。</p>	
4	<p>①電話回線数を増やす。（4 → 12回線） ②予約開始日を病院毎にずらして、2週に分けて予約受付を開始します。 今後は予約開始時に予約ができるだけ集中しないよう、可能な限り対策を検討してまいります。</p> <p>回答所管課 健康増進課</p>

<p>【コロナワクチン接種について】 集団接種を保健センターで計画しているが、アクセスと駐車場の整備からかなりの混雑が考えられるのではないか。</p>	
<p>5</p> <p>回答所管課 健康増進課</p>	<p>保健センターにおける集団接種につきましては、現在実施しております65歳以上の高齢者接種が個別接種において順調に推移していること、大規模集団接種会場の開催が決定したこと、職域接種の進捗状況及びワクチンの供給状況を踏まえ、あらためて検討してまいります。実施する際には、近隣のリリオ駐車場も無料で利用できるよう計画しています。</p>

<p>【下水道供用面積について】 下水道供用面積は、市内の何%にあたるのか。</p>	
<p>6</p> <p>回答所管課 下水道課</p>	<p>知立市の下水道整備計画では、知立市面積1,631ヘクタールのうち、1,152.8ヘクタールを下水道全体計画区域面積としています。 令和2年度末での整備済区域（供用開始）面積が677.8ヘクタールですので、知立市面積に対する割合は41.6%ですが、整備率（下水道全体計画区域面積に対する整備済区域面積の割合）は58.8%です。 また、下水道処理人口普及率（知立市人口72,277人に対する下水道を利用できる人口49,472人の割合）は68.4%です。</p>

<p>【下水道事業について】 下水道事業について地域に供用されていても接続されていない建物等があるが、そういったところに対するアプローチは何かしているのか。</p>	
7	<p>回答所管課 下水道課</p> <p>下水道整備工事を行う区域の住民の方々を対象に工事内容や早期接続に関する説明会を実施しています。 また、広報誌、ホームページで下水道の役割、下水道接続の流れなど早期接続に関する情報を提供しています。 2017年度には、供用開始から3年以上経過した区域の未接続世帯に対してアンケート調査を行い早期接続の啓発活動を行いました。 今後は、2022年度から開始する公共下水道接続補助事業を効率的にPRし、早期接続の促進に取り組んでいきます。 令和2年度末での水洗化率（下水道を利用できる人口49,472人に対する実際に下水道へ接続している人口42,993人の割合）は86.9%です。</p>

<p>【ヘルメットについて】 中学生が使用しているヘルメットについて、軽量で着用しやすいヘルメットの採用を検討してもらいたい。</p>	
8	<p>回答所管課 学校教育課</p> <p>学校として、規定は無く、家庭の判断で現状のものを購入して使用しており、改めて変更することは考えておりません。</p>

<p>【コロナワクチン接種について】 外国人のコロナワクチン接種について混乱が予想される。今年度の外国人のコロナ対策についてどのように考えているのか。</p>	
9	<p>回答所管課 健康増進課</p> <p>コールセンターでは、ポルトガル語、英語、タガログ語、ベトナム語の4か国については対応できます。Web予約については、外国語への対応はできないので、日本語のわかる方に聞きながら予約をお願いします。 WEB予約については、主要な項目について英語表記を追加しています。</p>

<p>【8050問題について】 唐突に出てきた感じだが、議会、行政は現状の把握はできているのか。</p>	
10	<p>回答所管課 福祉課</p> <p>「8050問題」につきましては、この度策定しました「第4期知立市障がい者計画『はっぴいぷらん』」において、「重点的に取り組む視点」として掲げた6つの項目の内の1つです。 これは計画策定の際に行った障がい者団体とのヒアリングにおいて、今後の取り組みの中心として欲しいとの団体からの要望を受けて、計画に反映させたもので、第4期の計画から掲載することになりました。 この計画は令和3年度からの始動となりますので、現時点では現状を十分に把握するには至っていませんが、問題解決に向けた調査や施策の実施について、これから協議していくこととしています。</p>

<p>【空家について】 空家が241件と報告があるが、貸出等で有効活用する方策はあるのか。</p>	
11	<p>回答所管課 建築課</p> <p>知立市内の空家241件については、平成28年度において空家等対策計画の策定のために実施した調査により把握できたものです。 質問にあります空家の貸出などの有効活用については、空家所有者の意向確認による同意が必要となります。現在のところ、近隣住民からの空家の環境悪化への相談について、空家の適正管理の指導を重点的に行っております。 今後において、空家の増加が懸念されることから、現在、実施している空家相談会などの相談状況を踏まえ、空家バンク開設等で利活用について検討していきます。</p>

<p>【野外センターについて】 野外センターの廃止に関して、友好都市の伊那市としっかり話し合いをしたうえでの決断なのか。廃止後、伊那市とのつながりをどのように考えているのか。</p>	
12	<p>回答所管課 協働推進課</p> <p>伊那市とは野外センターの建設を機に、平成6年11月、友好都市提携を結びました。それ以来、各課、学校、団体等において交流事業が行われてきました。 昨年度は、コロナ禍ということもあり交流事業は行われませんでした。令和元年度では、5月と10月に知立市シルバー人材センターと経済課が緑花視察研修で伊那市へ訪問しております。また、6月には、知立東小学校児童がけん玉づくりや五平餅づくりを通じて伊那市の地元の人たちと交流を深めました。7月から9月には伊那市の協力のもと、友好都市提携25周年記念企画展として、伊那市の縄文土器の展示と縄文遺跡の企画展講座を知立市で開催しました。 令和5年3月で野外センターは廃止となりますが、伊那市とは引き続き友好都市として良好な関係を築いていけるよう、交流を深めていきたいと考えています。</p>
	<p>回答所管課 生涯学習スポーツ課</p> <p>野外センターの廃止について、存廃にかかる3年間調査報告と、その後の廃止に伴う経緯について伊那市に伺い、担当部局と協議を行いました。その後、伊那市担当部局から市長部局や伊那市議会に報告をいただき、野外センターの廃止について反対する旨の意見等は出ていないという報告をいただきました。 当該協議の中で、友好都市についても協議し、野外センター廃止後も関係を継続することを確認しています。</p>

<p>【長田地内の長篠川の工事について】 長田地内の長篠川の工事が昨年度実施という認識をしていたが、執行されていないようだ。計画変更があったのか。市からの連絡も入っていない。</p>	
<p>13</p>	<p>回答所管課 土木課</p> <p>長田2丁目地内に位置する長田排水路における改修事業は、名鉄三河線付近の市道弘栄長田1号線（市道南陽通線と明治用水西井筋を結ぶ路線）及び長田排水路の北東の市道弘栄長田4号線（既設長田排水路と並行する路線）の道路の下に函渠（ボックス水路）を埋設し、長篠川から弘栄公園北西付近まで区間のバイパス水路を施工する事業になります。 平成30年度より下流側（名鉄三河線付近の市道弘栄長田1号線）から本格的工事に着手し、今年度（令和3年度）、弘栄公園西側で既設長田排水路に接続しバイパス水路が完成します。その後、既設長田排水路の埋戻し工事と併せて、管渠と側溝の設置工事を実施し、令和4年度に完了する予定です。</p>

<p>【猿渡小学校近くの喫煙所について】 猿渡小学校の門のすぐ前にある喫煙所の必要性は。</p>	
<p>14</p>	<p>回答所管課 経済課</p> <p>猿渡小学校前にある弘法休憩所に設置されていた灰皿については、改正された健康増進法における受動喫煙に対する趣旨等を鑑み、5月13日に撤去いたしました。</p>